

平成26年9月能代市議会定例会

市長説明要旨

平成26年9月能代市議会定例会の開会に当たり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要をご報告いたします。

はじめに、職員の逮捕についてであります。本人と面会して暴行の事実を確認いたしました。今後、警察の捜査及び検察の判断を待った上で、職員の処分については厳正に対処してまいりたいと考えております。市民の皆様には、ご迷惑をおかけし、心からお詫び申し上げます。不祥事が続いていることから、各職員には公務員としての自覚を強く求めるとともに、更なる職員教育に努めてまいりたいと考えております。

また、障害福祉サービス給付費の特別地域加算の未払についてであります。受給者証への特別地域加算事項の記載漏れがあり、過去に遡る請求事務など、関係者の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。重ねてお詫び申し上げます。

次に、庁舎整備事業についてであります。現在、実施設計作業を進めており、スケジュールどおり12月定例会に建設工事費予算を計上したいと考えております。また、庁舎整備の財源として合併特例債を予定しておりますが、活用するためには平成27年度までとなっている現在の新市建設計画の計画期間を延長する手続が必要となります。このため、地域協議会への諮問や県知事との協議等、合併特例法に定められた手続等を経て、12月定例会に新市建設計画の変更議案を提出したいと考えております。

庁舎整備事業に伴う事務室の移転についてであります。議会事務局は、8月28日に二ツ井町庁舎へ移転しております。また、来年1月からの第2、第3庁舎解体に伴い、環境衛生課、商工港湾課、観光振興課、農業振興課、都市整備課、道路河川課及び農業委員会能代分室は、12月末に旧淳城第二小学校へ移転し、平成27年1月4日から新庁舎が完成するまで、業務を行うこととなります。この間、市民の皆様にはご不便をおかけいたしますが、混乱が生じないように周知、対応に努めてまいります。

市史編さん事業についてであります。総合計画後期基本計画において、通史編近世まで発刊することとしておりますので、編さん委員会のご意見をお伺いしながら、検討してまいりました。このたび、新たな編集体制の見通しが立ちましたので、10月には編集委員を委嘱し、平成29年度の通史編近世の発刊に向けて作業を進めてまいりたいと考えております。

次に、能代市人口減少問題庁内検討会議の設置についてであります。これまで人口減少や少子化等を見据えながら各種施策を講じてきているところでありますが、今後、さらに厳しさが増すとの想定を踏まえ、7月23日、「能代市人口減少問題庁内検討会議」を設置しております。今後、国県の新たな動きが想定されますので、市といたしましては、そうした状況を踏まえて対応するとともに、地域に合った対応策も検討してまいりたいと考えております。

本因坊戦についてであります。去る7月11日に最後の第69期本因坊戦能代市実行委員会を開催いたしました。この中で、市内外の多くの参加者から喜びの声が寄せられるとともに、対局関係者から市民及び関係団体のおもてなしや配慮に対する感謝と旧料亭金勇での再度の開催を期待する言葉をいただいたことについて報告いたしました。本因坊戦開催後、旧料亭金勇への県内外からの来館者が大幅に増えているとの報告もあり、協議の結果、誘致を進めることを確認いたしました。これを踏まえ、市といたしましては、今後、主催者側に本市の意向を伝え、再度の開催に向けて招致活動を進めてまいりたいと考えております。

宇宙関連行事についてであります。第10回目となる能代宇宙イベントが、8月15日から8日間の日程で開催されました。期間中、全国からの参加者は、大学生・高校生等合わせて約700名となったほか、一般公開日には市内外の多くの方々からおいでいただきました。このイベントは、「宇宙」を目指す学生達の登竜門的なイベントとして知名度も高まってきており、今後の更なる充実を期待するとともに、引き続き支援してまいりたいと考えております。開催に当たり、会場の整地及び草刈り作業等、多大なるご支援・ご協力を賜りました能代山本建設業協会の皆様や秋田県を始め関係各位に深く感謝を申し上げます。

また、9月13日及び14日には、のしろ銀河フェスティバル2014の開催を予定しております。能代エナジウムパーク等3施設を会場に、小惑星「イトカワ」微粒子の特別展示等、子どもから大人まで楽しめる内容となっており、多数の来場を期待しているところであります。市といたしましては、こうしたイベントの開催等を通じて、児童・生徒の宇宙科学への関心の高まりや交流人口の増加等を図るとともに、能代市のイメージ向上につなげてまいりたいと考えております。

次に、（仮称）イオン新能代ショッピングセンターについてであります。イオングループのディベロッパー部門の責任者から、市に対して、現在の状況について報告がありました。その内容であります。 「店舗の配置と駐車場についての基本的な方向はまとまりつつある。開発行為と農地転用の手続に関しては、社内におい

て、許可申請に向けて、事前協議用の書類整備や関係者の同意を得るための段取りを進めているほか、送電線工事は順調である。しかし、その一方で、資材費や人件費の高騰等、本体工事費に影響を及ぼす懸案事項もあることから、施工業者と交渉しているが、厳しい状況である。」とのことであります。

大型七夕についてであります。今年度製作した大型七夕は、動く城郭型灯籠としては日本一となる24.1メートルの高さとなり、8月3日、4日の運行は、観覧していただいた大勢のお客様に、驚きと感動を与え、無事終えることができました。運行を主催された能代七夕「天空の不夜城」協議会をはじめ、市内の各事業所、小・中学生等、ボランティアとしてご協力いただいた多くの皆さまには、心から敬意と謝意を表すものであります。大型七夕は、観光振興の核となるイベントと位置づけておりますので、今後PRや運行体制を強化し、より一層集客力を高めていくとともに、通年観光を視野に入れた観光拠点施設の整備についても検討してまいりたいと考えております。

林業・木材産業の振興についてであります。現在、本市林業の状況は、木材価格の低迷や労働者の減少、高齢化などにより、適齢期を迎えたスギの間伐や伐採が進んでいない状況にあります。今後、林業の振興とスギ材の安定供給を図るためには、間伐や伐採、そして植栽などの森林整備を推進する必要があります。こうしたことから、8月4日に「能代市林業木材産業振興検討委員会」を設置し、素材生産部会、加工・製材・利用部会、木質バイオマス部会の3つの部会において、幅広い視野で林業・木材産業の振興策についての検討を進めております。

次に、一般国道7号二ツ井今泉道路改築事業に伴う「道の駅ふたつ」についてであります。このたび、道の駅ふたつ整備検討委員会や議会等のご意見を踏まえ、移転整備についての基本的な考え方を取りまとめた基本構想を策定いたしました。移転先につきましては、きみまち阪県立自然公園等との連携や（仮称）小繋インターチェンジからの交通の利便性等から、現「道の駅ふたつ」の国道7号を挟んだ向い側農地等を移転候補地といたしました。今後、速やかに移転整備を進めるため、施設整備や管理運営等に係る基本計画の策定、用地取得に向けた調査を行うとともに、国土交通省と市による「一体型」道の駅の整備のあり方や現有施設の補償等の協議を進めてまいります。

次に、能代工業高校と能代西高校との統合についてであります。第7次秋田県高等学校総合整備計画の素案においても、「能代工業高校と能代西高校を統合し、

能代地区統合校Ⅱを開校する。」ことが示されております。このたび、県から統合の際に市民球場と能代西高校の土地を交換することについて打診がありました。市といたしましては、平成16年度に統合高校を能代工業高校の現在地で整備するよう県教育長に意見書を提出していることも踏まえ、関係団体等との調整や財産の交換等の協議を進めてまいりたいと考えております。

第29回国民文化祭についてであります。10月12日に、国内外の12団体による「現代舞踊の祭典」の公演が、また、11月1日、2日には、県内外の5団体による「市民ミュージカルフェスティバル」の公演とシンポジウムが、文化会館で開催され、公演等に併せて地域の特産品等の販売も行われます。さらに、10月5日から11月3日までの期間中、日曜日を中心に呈茶会や舞台発表会、展示会を旧料亭金勇で開催し、国民文化祭を盛り上げることであります。市民の皆様には、公演の観覧やボランティアとしての参加とともに、来訪者へのおもてなしにご協力をいただきたいと考えております。

次に、単行議案の主なものをご説明いたします。

能代市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定については、子ども・子育て支援法の制定に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めようとするものであります。

能代市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定については、児童福祉法の一部改正に伴い、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めようとするものであります。

能代市水道事業等及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正については、能代市水道事業の給水区域を拡張しようとするものであります。

能代市防災行政無線（固定系）施設整備工事（平成26年度）、市営松山町住宅建設工事Ⅰ工区（建築主体工事）及び市営松山町住宅建設工事Ⅱ工区（建築主体工事）の請負契約については、それぞれの工事請負契約について議会の議決を求めるものであります。

県北地区広域汚泥処理施設の建設及び維持管理等に関する事務の委託については、県北地区広域汚泥処理施設の建設及び維持管理等に関する事務を秋田県に委託しようとするものであります。

このほか、市道路線の認定並びに平成25年度の能代市水道事業会計決算の認定及び能代市下水道事業会計決算の認定について提案しております。

次に、平成26年度能代市一般会計補正予算案の概要をご説明いたします。

このたびの補正予算は、これまでに国・県から内示等を受けた事業について所要額を計上したほか、市単独事業については、当面緊急を要するものについて補正しております。

まず、歳入の主なものとしては、普通交付税、障害者総合支援給付費等負担金及び社会保障・税番号制度システム整備費補助金の追加、マツ林健全化整備事業費補助金の計上、財政調整基金繰入金及び前年度繰越金の追加、能代球場整備事業債の計上、臨時財政対策債の追加等であります。

次に、歳出の主なものについてご説明いたします。

総務費においては、財政調整基金積立金 2 億 4, 6 7 9 万 1 千円、道の駅ふたつい整備事業費 3, 0 5 2 万円等を計上しております。

民生費においては、障がい福祉事務費 5 0 7 万 6 千円、障害福祉サービス等給付費 2, 4 7 7 万 8 千円、福祉医療費支給事務費 7 8 1 万円、児童扶養手当費 6 0 5 万 6 千円等を計上しております。

衛生費においては、予防接種費 1, 0 9 1 万円を計上しております。

農林水産業費においては、松くい虫対策事業費 6 1 0 万円等を計上しております。

商工費においては、公共施設再生可能エネルギー等導入推進事業費 3 9 6 万 3 千円等を計上しております。

教育費においては、能代球場整備事業費 1, 6 6 2 万 2 千円等を計上しております。

災害復旧費においては、林道災害復旧事業費 2 5 0 万 7 千円を計上しております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は 3 億 8, 4 7 0 万円となり、これを既定予算に加えますと一般会計の総額は 2 6 4 億 8, 8 4 0 万円となります。

このほか、平成 2 6 年度各特別会計補正予算案につきましては、提案の際、詳細にご説明いたしますので省略させていただきます。

なお、平成 2 5 年度能代市一般会計決算及び特別会計決算の認定並びに人権擁護委員の候補者の推薦については、後日追加提案させていただく予定であります。

以上、よろしくご審議の上、適切なお決定を賜りますようお願い申し上げます。